

犯罪情報 7月13日～7月19日

1 特殊詐欺（ニセ警察詐欺）被害の発生について

(1) 被害額

2,327 万円

(2) 事案の要旨

Aさんは、金融機関の職員を名乗る男、京都府警を名乗る男等から電話で「逮捕されないために逮捕前保釈保証金を振込むこと」を指示されたことから、インターネットバンキング等を利用し、指定された口座へ合計 2,327 万円を振り込み、ニセ警察詐欺被害に遭った。

(3) 事案の詳細

Aさんの携帯電話に金融機関の職員を名乗る男から電話があり、「あなた名義の銀行口座が京都府内で不正利用された。京都の警察に被害届を出してください。当社から京都の警察にお繋ぎします」などと言われ、京都府警察本部捜査第二課を名乗る男に電話が代わった。

京都府警を名乗る男からは、「連絡を取る上で、まず通信アプリをダウンロードすること」と言われ、Aさんは指定の通信アプリをダウンロードした。その後、京都府警を名乗る男から「こちらで捕まった犯人があなたの口座を持っていた。あなたもこの事件に関わっている可能性があり、身柄を拘束する必要がある。身柄拘束をしない方法として 2 時間毎に行動報告等をする必要がある。検事にも話をしてあるので、このまま検事と話しをしてほしい」と言われ、検事を名乗る女性に電話が代わった。検事を名乗る女性からは「あなたの報告状況を見極めて、身柄を拘束するか判断する」等と言われ、相手を警察官や検事と思い込んだAさんは、以降、2 時間毎に通信アプリで定期連絡をした。

そして、検事を名乗る女性から「逮捕されないために逮捕前保釈保証金 500 万円を指定する口座に振り込むこと」、「最終的にお金は返金される」等と言われ、同日、インターネットバンキング等から、指定された口座に 500 万円を振込んだ。その後も検事を名乗る女性から「保釈金が足りない。払えないなら逮捕になる」等と繰り返し言われ、5 回にわたり合計 1,827 万円を振り込んだ。

最終的にAさんは、検事を名乗る女性から「逮捕前保釈保証金の受領書を富山中央署に取りに行くように」と言われ、来署した際に詐欺被害が判明したものの。

2 特に注意喚起していただきたい事項

- 「+」から始まる国際電話番号を悪用した特殊詐欺が多く発生しています。このような表示の電話には出ない、かけ直さないようにご注意ください。固定電話については、国際電話の発着信が休止できる「国際電話不取扱受付センター」をご利用ください。
- 携帯電話については、特殊詐欺等の犯行に利用された番号（国際電話番号を含む）をブロックする機能等が備わった警察庁推奨アプリ「詐欺対策 by NTT タウンページ」、「詐欺バスター Lite」をご利用ください。ダウンロード、利用料ともに無料です。
- 電話でお金のお話が出たら、一人で悩まず、家族や警察（110 番、警察相談専用電話#9110 など）へ相談してください。

特殊詐欺の電話はアプリでブロック！

警察庁推奨アプリ



警察庁・SOS47
特殊詐欺対策ページ
ダウンロードは、こちらから

※利用料無料

富山県警察広報キャラクター



らーちゃん

らいくん

富山県警察本部生活安全部
生活安全企画課犯罪抑止対策室
076-441-2211